

# 令和4年度 モビリティコンソーシアム モビリティ利活用PT

第1回2022年8月5日

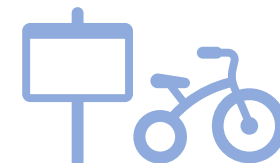
幕張新都心  
MAKUHARI  
NEW URBAN  
CENTER

## 本日の目的とアジェンダ

本日の目的は以下 2 つあります。流れとしては、本日はイントロダクションで前提確認をした後、PTの方向性について検討し、資源活用施策のモビリティステーション設置について検討します。

### 目的

1. 昨年度の取組を振り返り、今年度のPTでのスコープを定める
2. モビリティステーション設置に向け、アイデアを膨らませる



	アジェンダ	発表者	時間
14:00-	<b>イントロダクション</b>		
	各社・メンバー紹介	各PTメンバー	20分
	今年度のPTの位置づけ	事務局	5分
14:25-	<b>今年度のPT取組みの方向性の検討</b>		
	昨年度の取組の振り返り		
	①回遊性向上のためのモビリティ・コンテンツ案	①JR様	①10分
	②モビリティ資源の最適化・共有化の具体案	②ビートランセHD様	②10分
	今年度のPTの方向性	事務局	5分
	グループワーク	-	35分
	全体共有	各PTメンバー	5分
15:30-	<b>モビリティステーションの設置について検討</b>		
	事例共有	OpenStreet様	5分
	新駅開業に向けた回遊性向上に資する取組（経過報告）	イオンモール様	5分
	グループワーク	-	15分
	全体共有	各PTメンバー	5分

## イントロダクション

まずは、各社メンバー紹介を行います。  
以下について各社代表の方、ご挨拶をお願いいたします。表の上から順に行ってください。

各社代表者の方  
(1分程度)

1. 会社名
2. PTで実施したいこと・期待

### PT参加団体名 (順不同)

東日本旅客鉄道株式会社

コストコホールセールジャパン株式会社

OpenStreet株式会社

京成バス株式会社

株式会社スパサンフジ 幕張温泉 湯楽の里

ビー・トランセホールディングス株式会社

イオンモール株式会社

株式会社 J T B コミュニケーションデザイン

三ツ矢エミタスタクシーHD株式会社

株式会社千葉ステーションビル

小田急電鉄株式会社

長谷川工業株式会社

株式会社建設技術研究所

一般社団法人千葉県タクシー協会

株式会社 幕張メッセ

株式会社ヴァル研究所

損害保険ジャパン株式会社

N T T ドコモ千葉支店

シャープ株式会社

公益財団法人日本サッカー協会

### 本日も欠席のPT参加団体名 (順不同)

イオンコンパス株式会社

イオンタウン株式会社

神田外語大学

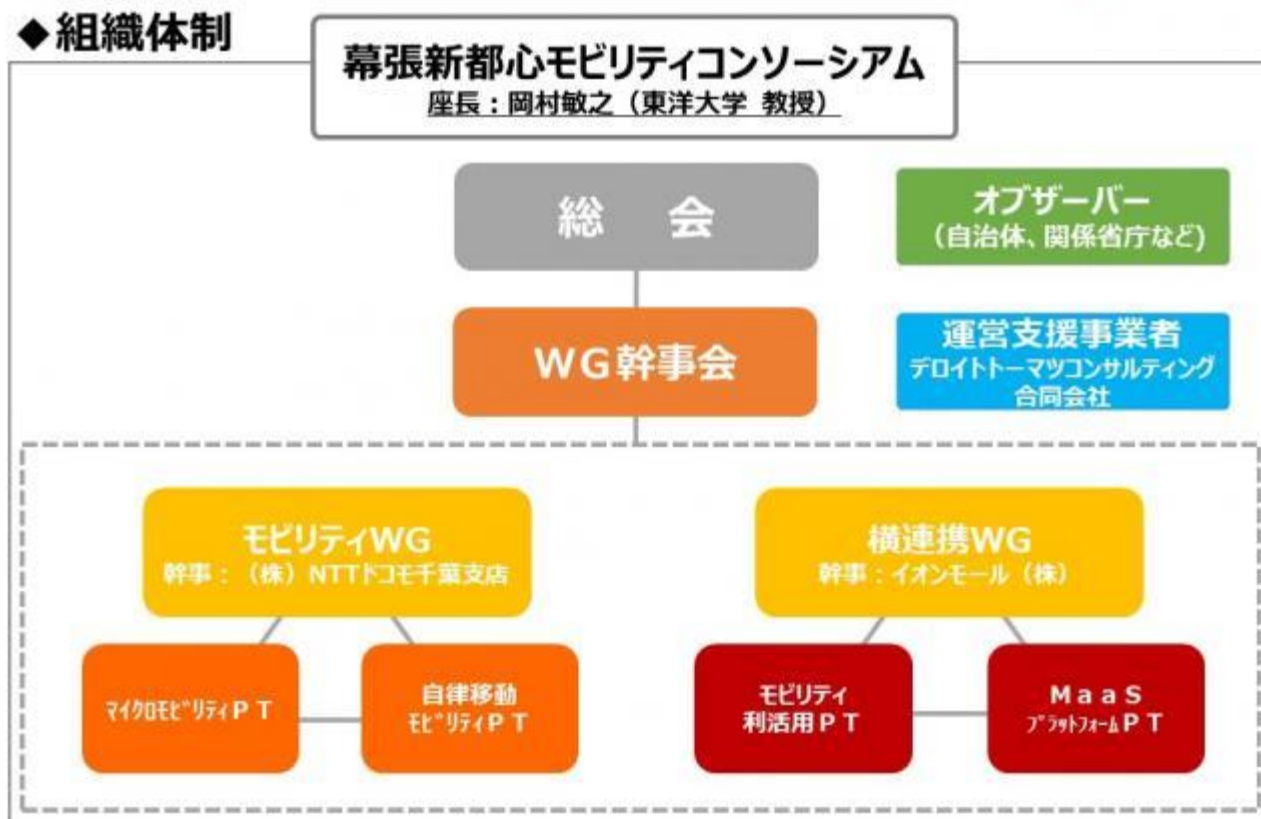
久留米工業大学

公益社団法人千葉市観光協会

## WG全体の目的の再確認

4つのPTに分かれて、それぞれの観点から検討を進め、WGで統合し、幕張新都心の新しい移動・モビリティコンテンツを創造します

## モビリティコンソーシアムの概要



来訪者や住民、就業者、就学者など様々な属性の方の幕張新都心における「移動需要」に対し、幕張新都心版MaaSを基盤とし利用者にも最適な「移動手段」・コンテンツを提供するための検討

## 本PTの位置づけ

前年度の取組みを踏まえ、本PTで取り組む内容は以下の通り

P T・・・テーマごとの各種検討や実証実験に向けた準備・各種連携を実施する場

横連携  
WG

モビリティ利活用  
PT

- 幕張新都心における回遊性の向上に向けて、コンテンツとモビリティの両面から検討するとともに、既存資源の最適化・共有化を図ることについて検討するPT

(主な取組内容)

- ・ 回遊性向上に資する手法の具体化や課題整理、優先順位付けなどについて取り組む。
- ・ 既存資源（駐車場など）の最適化・共有化に向けて、具体的な検討を行うためのニーズ把握、課題整理などについて取り組む。

MaaS  
プラットフォームPT

- 2023年春の幕張豊砂駅開業と同時期の実装を目標とする幕張新都心版MaaSについて検討するPT

(主な取組内容)

- ・ 2022年度下半期に予定している幕張新都心版MaaSの実証実験に向けて検討するとともに、実証内容の練上げなどについて取り組む。
- ・ 今後のサービス機能拡充に向けて取り組む。

千葉市事業（補助）

MaaSの  
実証実験を予定  
(2022年度下半期)

※第4回総会で説明した「回遊性向上PT」と「最適化・共有化PT」については、検討した結果、「モビリティ利活用PT」として統合することに変更（前年度のモビリティ利活用WGを継承）

回遊性向上PT

最適化・共有化PT

モビリティ利活用PT

## 今年度目標

今年度は、モビリティ・コンテンツ両輪での施策を具体化し、実行体制を構築する

### 【回遊性向上のためのモビリティ・コンテンツ両輪での施策選定】

- モビリティ（資源）
  - 幕張豊砂駅開業と同時に提供可能なモビリティサービスの検討および実装
  - 駐車場最適活用施策のトライアル実施
  - 既存バスサービス効率化の施策案出し
  
- コンテンツ
  - 来訪者/住民向け施策の選定および実行に向けた計画や体制の検討

## PT全体の予定

全4回を通じて、施策の実現にむけ、施策の具体化、実行を進めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン			WG #1	PT #1		PT #2	WG #2		PT #3		PT #4	WG #3

第1回	第2回	第3回	第4回
<p>今年度の取組の方向性決め</p>	<p>MaaSも絡めた施策アイデア出し (ワークショップ等)</p>	<p>具体化施策の選定・詳細検討</p>	<p>実装・来年度にむけて検討</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昨年度の取組を振り返り、今年度のPTでのスコープを定める</li> <li>2. モビリティステーション設置に向け、アイデアを膨らませる</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ニーズの再検討</li> <li>2. 回遊性向上施策の案出し</li> <li>3. 駐車場活用・バスサービス効率化施策の具体化</li> <li>4. モビリティステーション設置に向けた検討</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回遊性向上施策の選定 (MaaSサービス拡張に向けたもの、それ以外)</li> <li>2. 駐車場活用・バスサービス効率化施策トライアルに向けた事業者・座組検討</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回遊性向上施策の課題出し</li> <li>2. 駐車場活用・バスサービス効率化施策トライアルの課題出し</li> <li>3. 来年度MaaS実装に向けた残論点や課題の検討</li> <li>4. 来年度に向けた目標設定</li> </ol>

# JR様からご共有

(昨年度の取組の振り返り:回遊性向上のためのモビリティ・コンテンツ案)



# ビートランセHD様からご共有

(昨年度の取組の振り返り:モビリティ資源の最適化・共有化の具体案)

# 2022年度の取組の方向性

事務局

## 幕張新都心 日々活動人口

幕張新都心の特徴として来訪者が多いため、来訪者をメインとして回遊性向上に取り組む

— 就業者数 — 就学者数 — 来訪者数 — 居住者数



幕張新都心活動人口 調査結果 (2022年4月現在)

	2020年度調査	2021年度調査	2022年度調査
就業者数	60,000人	60,000人	61,000人
就学者数	12,000人	12,000人	12,000人
来訪者数	131,000人	76,000人	88,000人
居住者数	27,000人	28,000人	29,000人
日々活動人口(合計)	230,000人	176,000人	190,000人
年間来訪者数	4,800万人	2,800万人	3,200万人

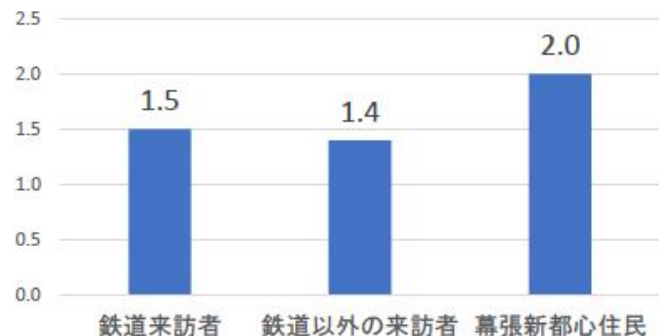
※各年度調査結果は、前年度実績から積算している

## 幕張新都心版MaaS移動実態調査等

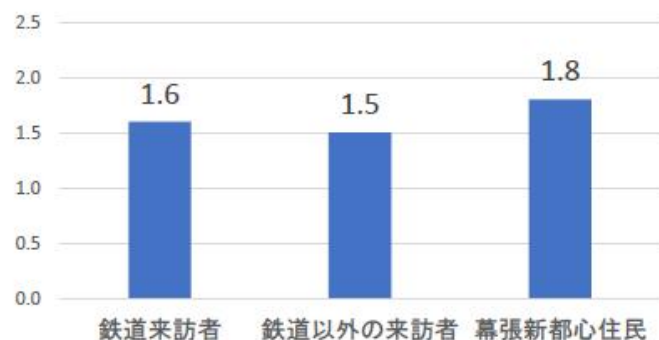
調査結果より、幕張新都心への来訪者は多くの方が、平日・休日ともに1施設の来訪となっている。また、自家用車で買い物を目的に来訪する方が多いことがわかる。

- ・幕張新都心への来訪者の周遊状況は、平日、休日ともに新都心内で来訪施設は1~2施設であり、多くの方が1施設の来訪である。アクセス手段が鉄道以外の来訪者は、自家用車で来訪が多いことから、主目的の施設に駐車後、他の施設への周遊が促されいと思われる。
- ・周遊する方の来訪者の主要な来訪先は、「イオンモール幕張新都心⇄三井アウトレットパーク」、「幕張メッセ⇄三井アウトレットパーク」、「イオンモール幕張新都心⇄コストコホールセール」が多い。

### ● 平日の来訪施設数



### ● 休日の来訪施設数



### ● 主な周遊施設



※他都市の平均立寄り施設数

東京都※1	横浜市※2	高山市※3
1.9 (日帰り)	1.75 (日帰り)	2.64

※1 平成31年・令和元年東京都観光客数等実態調査  
 ※2 横浜市 令和元年度 乗客実人員調査及び観光動向消費動向調査報告書  
 ※3 高山市 令和2年 観光統計

## グループワークの全体像

モビリティを活用した来訪者の回遊性向上を目指した施策出しを行います

### ワークの目的

回遊性×来訪者をテーマに今年度のPTでの検討の方向性の案だし・選定

### ワークの前提

#### ■ 理想の状態

来訪者が一施設のみならず、**複数の施設に来訪**し幕張新都心が活性化すること

- 幕張メッセでのイベントと、同時に商業施設にも立ち寄り、買い物を楽しむ。また、その前後に飲食店、娯楽施設に回遊。

#### ■ 対象者

買い物を目的に来訪する方々

- 家族連れ、20代以上の若者友人同士、中年以降、家族連れの父親など



## グループワークでの検討内容

現状の課題、昨年度のアイデアを踏まえながら、より具体的な回遊性向上施策の案出しを行います

### 理想の来訪者の状態

- 来訪者が一施設のみならず、**複数の施設に来訪**し幕張新都心が活性化すること
  - 例：幕張メッセでのイベントと、同時に商業施設にも立ち寄り、買い物を楽しむ。また、その前後に飲食店、娯楽施設に回遊



### 現状の課題



- 商業施設関係者／運送業の方から、**現状の移動に関する課題感**の共有  
(イベント時の混雑、渋滞、その他なんでも構いません)

各グループ1名以上いらっしゃるので  
発表をお願いします

昨年度検討のユースケースも参照し、  
対象者のイメージを膨らませ、  
解決策を具体化させてください。

- **どのような工夫でパーク&ライドをしてもらおうか？**  
(コンテンツ・設置場所・モビリティ・事業化の工夫)

- 湯楽の里・メッセの閑散期の駐車場（参照：昨年度の検討結果）を活用できるようモビリティ設置
- 自動配送ロボでコストコ等で買った大量の荷物も先に自動で駐車場まで運んでくれる

- **買い物客にはどのようなモビリティが有効か？どのような機能やサービスがあるとよいか？**

- 次世代型マイクロモビリティで買った荷物も同時に運ぶ

- モビリティを活用し、買い物客の回遊性向上するアイデア

- マイクロモビリティ、オンデマンドバス、自動運転バス、配送ロボット、インフラ整備等

解決策

[自家用車来訪者]  
パーク&ライド  
(モビリティ含む)

[鉄道来訪者]  
モビリティライド

その他新規アイデア

## コンテンツ案

イベントのみでなく、日々の住民の生活や来訪者についてのユースケースを深掘りする。

再掲

ターゲット	ユースケース	どこからどこへの移動か	想定されるモビリティ
若者世代	幕張メッセのイベントなどの来訪者がイオンモールや周辺の商業施設に立ち寄る。	幕張メッセ ⇔ イオンモール 商業施設	・オンデマンド交通 ・シェアサイクル ・循環バス
学生	学校終わりから、次の予定までの間もしくは予定終了後に自宅へ直帰ではなく、おしゃれな自習スペースやカフェへ。映えスポットを開拓し、インスタで拡散。	学校 ⇔ 自習スペース 飲食店	・シェアサイクル ・電動キックボード ・マイカー(親の送迎)
ティーン 来訪者	「エンタメ×社会貢献」 コミケ、ライブ、大規模オフ会イベントに社会貢献をプラス。 楽しんで地域のためになる体験を提供する。	幕張メッセ ⇔ 地域貢献活動場所 海浜公園	・オンデマンド交通 ・シェアサイクル ・パーソナルモビリティ ・循環バス
子育て世代	子供を習い事教室に送迎する際、家と教室の単純往復となっていたが、習い事中に買い物や食事、各用事を済ませることで時間を効率的に使う。	自宅、習い事教室 ⇔ イオンモール 飲食店 小売店	・オンデマンド交通 ・シェアサイクル ・循環バス
主婦	習い事仲間と教室終了後に湯楽の里へ。温泉でさっぱりした後は、そのまま女子会を開催。夫や子供の帰宅が遅ければそのまま2次会へ。	●●教室 ⇔ 湯楽の里 女子会開催場所	・シェアサイクル ・送迎バス ・友人の車 ・オンデマンド交通
働き盛り世代	アポイントで幕張を訪れたサラリーマンが帰宅前に商業施設や小売店に立ち寄ったり飲食店で食事をする。また、仕事が残っている場合はステーションワークでテレワークをする。	幕張メッセ ⇔ 商業施設 小売店・飲食店 テレワーク施設	・循環バス
家族連れお父さん	妻と子供がのんびり買い物しているときに、お父さんが一人で足を伸ばせるイベントとモビリティをセットで提供する。	商業施設 ⇔ 趣味嗜好に合わせた場所 ・自然好き ・新しい物好き ・体験型好き など	・オンデマンド交通 ・シェアサイクル ・超小型モビリティ

## グループワークの流れ

現状の課題、昨年度のアイデアを踏まえながら、より具体的な回遊性向上施策の案出しを行います

### ワークの 目的

回遊性×来訪者をテーマに今年度のPTでの検討の方向性の案だし・選定

### ワークの 前提

対象者：自家用車で買い物を目的に来る来訪者

目標：来訪者が一施設のみならず、複数の施設に来訪し幕張新都心が活性化すること

検討内容：コンテンツではなく、モビリティ側を考える

### ワークの 進め方

Step 1

- 自己紹介

Step 2

- 商業施設関係者／運送業の方から、現状の移動に関する課題感の共有

Step 3

- 課題を解決し、理想の回遊性を目指すためには、どのようなモビリティをどのように活用できるか？
  - パーク&ライド（モビリティ含む）【自家用車で来訪】
  - モビリティライド【鉄道で来訪】
  - その他新規アイデア

補足

- 現在でた施策のなかで、取り組んでいくべき重要な施策はどれか？



# OpenStreet様からご共有 (モビリティステーション設置事例の共有)

# イオンモール様からご共有

(新駅開業に向けた回遊性向上に資する取組 (経過報告) )

## グループワークの全体像

回遊性を向上するためのモビリティステーションをどのように設置するかアイデア出しを行います

### ワークの 目的

回遊性を向上するためのモビリティステーションをどのように設置するかアイデア出し

マイクロモビリティPTとは異なり、  
回遊性や、連携の観点から検討します

### ワークの 前提

対象者：買い物を目的とした来訪者  
(※ワーク1の設定を引き継ぎます)

### ワークの 進め方

Step1

- 発表への感想共有  
※時間がなく、すぐにstep2に移れそうな場合は割愛してください

昨年度検討された資源の最適化・共有化の  
内容も参照しながら検討してください

Step2

- 来訪者の回遊性向上のため、どのようなモビリティステーションをどこに設置するか
  - 立地（配置）…幕張新都心エリアのどの場所に設置すれば効果があるか
  - 機能面…モビリティだけではなく、どのような工夫があれば回遊性が生まれるか

